

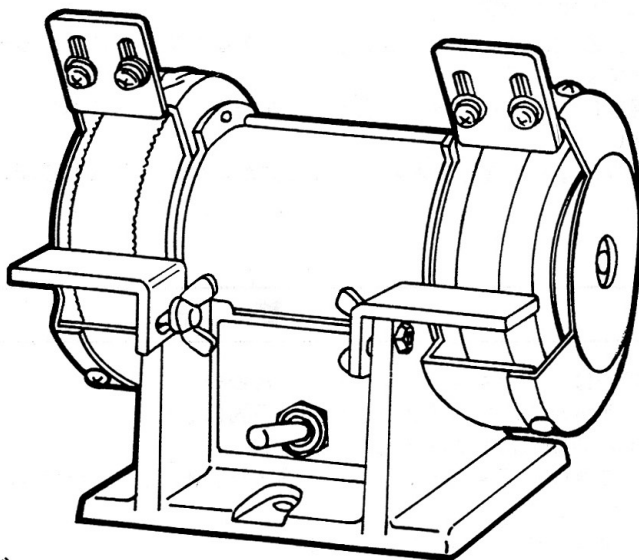
RYOBI®

ミニ卓上グラインダ

G-3

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



—— も く じ ——

- ・ 安全上のご注意…………… 1 ～ 4
- ・ 各部の名称…………… 5
- ・ 仕 様…………… 5
- ・ 刃物台と調整片の調整…………… 6
- ・ ご使用方法…………… 6
- ・ 砥石・フェルトバフの交換…………… 8
- ・ 保守と点検…………… 10

このたびは、リョービミニ卓上グラインダをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読み
ください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解の上で正しく、安全にご使用
くださるようお願いいたします。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部に表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性
があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が
想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される
内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず
守ってください。
- 使用前に、これらすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用してく
ださい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してくだ
さい。



警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しない
でください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにし
てください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。



警 告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履き物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護メガネを使用してください。
 - ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。

延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



警告

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または、修理する場合。
 - ・ 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他、危険が予想される場合。
15. 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れているときは、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
20. 純正部品を使用してください。
 - ・ この取扱説明書およびリョービカタログに記載されている純正部品以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。修理は、必ずお買上げの販売店にお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

ミニ卓上グラインダご使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ミニ卓上グラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

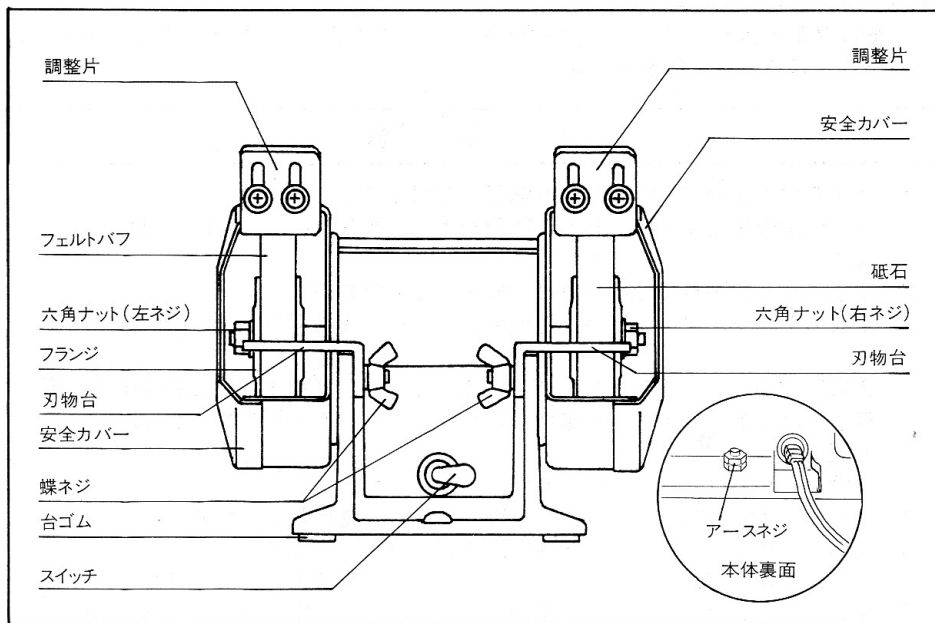
1. 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示以上の電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバー、調整片を取り付けて使用してください。
3. 正規のトイシ、フェルトバフを使用し、正規の使用面で研削、研磨してください。
正規以外のトイシやフェルトバフを使用したり、また側面や上面で研削、研磨をされますと、トイシが破壊したりフェルトバフの異常磨耗から、けがの原因になります。
側面や上からは研削しないでください。
4. トイシにヒビ、割れがないことを確認してから使用してください。
5. 使用時、移動しないように本体を確実に固定してください。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。感電事故のもとになります。
7. 本体をバイスなどで保持し、工具類(トイシなど)を横向きにした使い方や、本体を手で持った使い方はしないでください。
8. トイシでの切断作業はしないでください。
9. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
10. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
11. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または最寄りのリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
12. 回転させたまま放置しないでください。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。



注 意

1. 工具類(トイシなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. 新しいトイシを取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
3. 用途以外の刃物(丸ノコ刃、チップソーなど)での切断作業はしないでください。
4. コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。

■各部の名称



■仕様

電	源AC100V・50/60Hz
消 費 電 力	(50Hz)60W/(60Hz)55W
回 転 数	(50Hz)2,800rpm/(60Hz)3,400rpm
定 格 時 間	30分
砥	石(外径)75×(内径)12.7×(厚さ)13mm(A80J)
フェルトバフ	(外径)75×(内径)12.7×(厚さ)10mm(白色)
コード長さ	0.8m
機 体 寸 法	(幅)148×(奥行)110×(高さ)130mm
重	量1.75kg

●用 途

各種金属の研削、研磨作業に。

- ・フェルトバフの研磨作業の際に、付属のツヤ出しワックスを併用されますと、よりツヤのある仕上がりができます。

●通常付属品

- ・ツヤ出しワックス(金属用)



注 意

- ・ツヤ出しワックスを使用されるときは、必ず事前に試し研磨をして異常のないことを確認してください。

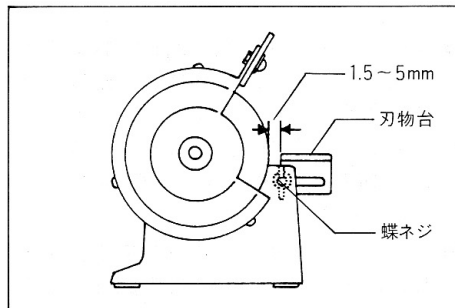
■ 刃物台と調整片の調整



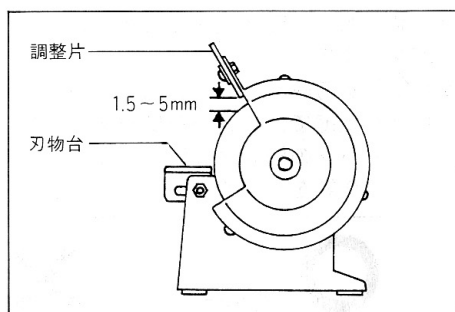
警 告

- ・ 刃物台を外しての使用や、ゆがんだ状態での使用は大変危険です。
- ・ 調整後は、ネジをしっかりと締付けてください。

- 刃物台は水平に設置し、蝶ネジでしっかりと締付け固定してください。
刃物台と砥石(フェルトバフ)との間隔は、1.5～5mmに正しく調整してください。



- 調整片と砥石(フェルトバフ)の間隔は、1.5～5mmに正しく調整してください。
調整は調整片を取付けているネジ2本をゆるめて行います。



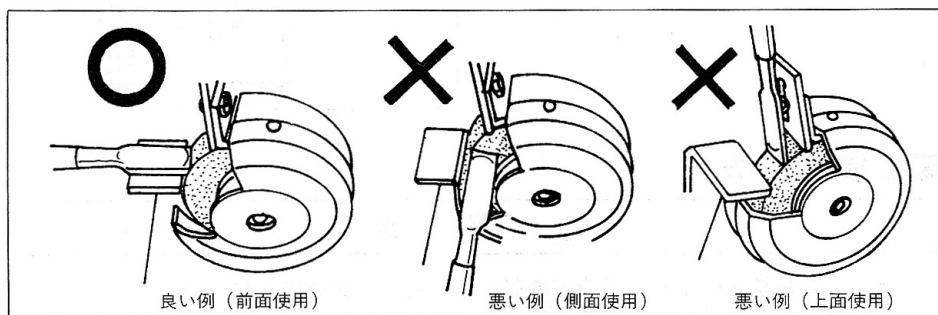
■ ご使用方法



警 告

- ・ 巻き込み事故防止のため、手袋等の着用は絶対にしないでください。
- ・ 目を保護する保護メガネを着用してください。
- ・ 機体に衝撃をかけますとトイシにヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
万一機体を誤ってぶついたり、落としたりしたときは必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などが無いことを十分ご確認ください。
- ・ 作業の開始前には必ず（トイシを交換した時は3分以上、前から取り付けているトイシを継続して使用する時は1分以上）、空廻しを行い異常のないことを確認してください。
- ・ 作業中は、目を砥石やフェルトバフに近付けないでください。
- ・ 横側や上側からの研削研磨は、大変危険ですから行わないでください。

- 最初に、使用中で本体が移動しないように固定してください。
台の前後3ヶ所の穴を利用し（作業台などに）、木ネジなどで締付けて固定します。
- 固定ができましたら、台の後ろ側にあるアースネジを利用してアースをとってください。
- スイッチが「OFF」側に倒してあることを確認してから、電源コード先のプラグを電源コンセントに接続します。
スイッチが「ON」側に倒れているときは、「OFF」側に倒してから電源を接続してください。
- スイッチを「ON」側へ倒して電源を入れ、砥石（フェルトバフ）を回転させます。
- 確認の後、回転が安定してから作業を開始します。
- 加工材を刃物台（保持台として）の上に乘せた状態で加工部分を砥石またはフェルトバフの円周面に軽くあて、研削、研磨の作業をします。



- 使用後は、スイッチを「OFF」側へ倒して電源を切った後、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 回転が止まっていることを確認してから、粉塵などを取り除き、次回の使用に備えてください。

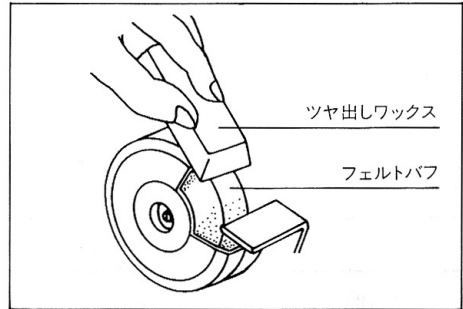


注 意

- ・回転がいちじるしく落ちるほど、強く押えないでください。
無理に押し付けるとモーター焼けなどの原因となります。
- ・砥石での研削の際、加工部分を連続して砥石にあて続けると、加工材が赤熱して焼けることがあります。
赤熱しないよう注意してください。
- ・使用後や点検の際は、不意に回転することが無いように、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・使用後は、ネジ類などのゆるみや、異常な点が無いことを確認しておいてください。

■ツヤ出しワックスの使い方

- 図のように、ツヤ出しワックスをフェルトバフの上方から軽く付着させて塗布してください。
あとは、加工材を軽くフェルトバフにあててツヤ出しを行います。



■砥石、フェルトバフの交換

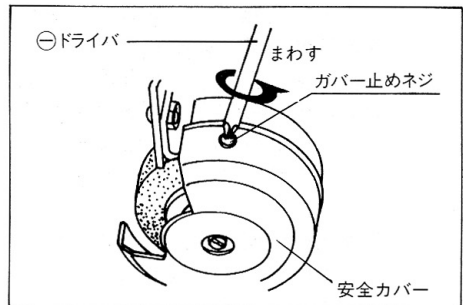


警 告

- ・万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて作業を行ってください。

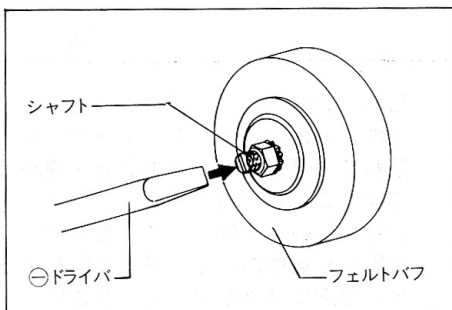
1. 砥石の取りはずし方

- ①安全カバーを取り外します。
安全カバーの周囲3ヶ所のカバー止めネジを⊕ドライバでゆるめ、取り外します。



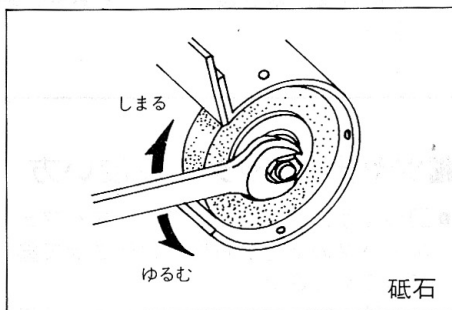
② 砥石の固定用六角ナットを取り外します。

フェルトバフ側のシャフト中央に⊖ドライバ用の切れ込みがあります。ここに⊖ドライバをあてて、シャフトの回転を固定します。



③ 砥石側の固定用六角ナットをゆるめ外します。

六角ナット、座金、フランジ、砥石の順に取り外します。



⚠ 注 意

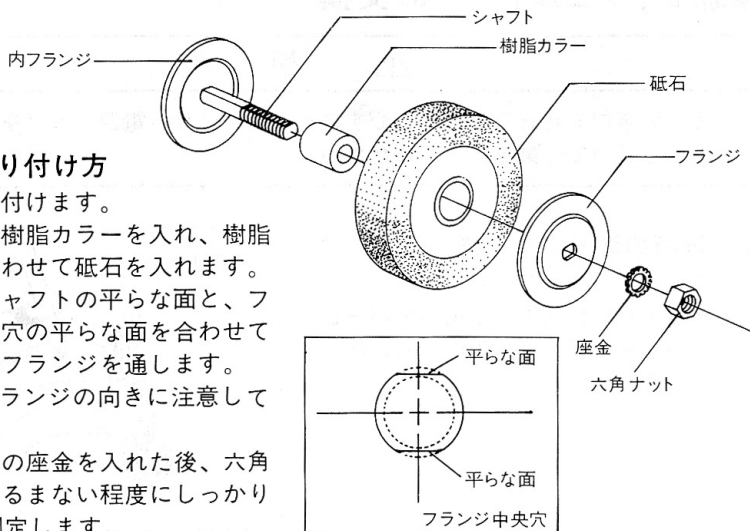
- ・ 砥石側の六角ナットは、右ネジで反時計方向に回すとゆるみます。
- ・ シャフトと砥石の間の「樹脂カラー」を無くさないでください。

2. 砥石の取り付け方

① 砥石を取り付けます。

シャフトに樹脂カラーを入れ、樹脂カラーに合わせて砥石を入れます。つぎに、シャフトの平らな面と、フランジ中央穴の平らな面を合わせてシャフトにフランジを通します。このときフランジの向きに注意してください。

ゆるみ止めの座金を入れた後、六角ナットでゆるまない程度にしっかりと締付け固定します。





注 意

- ・ 固定用の六角ナットを必要以上に締付けないでください。

②安全カバーを取り付けます。

ネジ穴3ヶ所を合わせて、安全カバー
を取り付けネジ3本で締付け、固定し
ます。



注 意

- ・ 砥石の交換後は、必ず安全カバーを付けてください。

3. フェルトバフの取り外しと取り付け

フェルトバフの交換は、安全カバーを取
り外した後、砥石の交換と同じ要領で行
ってください。

ただし、フェルトバフ側の固定用六角ナ
ットは左ネジですので逆まわしとなります。
フェルトバフの取り付け後は、安全カバ
ーを取り付けてください。



注 意

- ・ 砥石、フェルトバフを取り付ける際に使用した工具類は、用済み後、速やかに
取り外し、運転に支障のないようにしてください。

■保守と点検

- 使用後は、粉塵等は取り除いて、きれいな状態で保管してください。
- 各部にネジのゆるみや異常がないか点検してください。
- 砥石やフェルトバフに異常な摩耗がないか、ワレ、カケなどがないか点検してく
ださい。
- 保管は、小さいお子様の手の届かないところで、落下などの恐れのない安定した
ところとしてください。
また、湿気のない屋内で直射日光の当たらない涼しいところとしてください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変更ことがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社